

オプション・メニューのご案内(税込)

協会けんぽ加入者様用

「※予約」の検査につきましては0493(23)0277へお早目にご連絡をお願い致します。

【下記「し点チェック」と「ご氏名」をご記入のうえ当日こちらの用紙をご提出ください】

検査内容	検査目的	料金	検査日	チェック
脳検査 ★(3)(4)の詳細は別紙参照。結果は約3~4週間要します。(別紙報告)				
(1) 頭部CT	脳腫瘍、脳梗塞 etc.	16,500円	※予約	
(2) 頭部MRI・MRA	脳腫瘍、脳梗塞、脳動脈瘤 etc.	33,000円	※予約	
(3) 脳梗塞リスク評価	かくれ脳梗塞の可能性を探る	13,200円	※予約	
(4) 認知症リスク検査(MCI)	軽度認知障害のリスク評価	24,200円	※予約	
肺がん検査				
(5) 肺癌腫瘍マーカー(NSE・SCC)	血液による肺癌検査の手助け	7,700円	当日	
(6) 胸部CT	肺疾患の発見	16,500円	※予約	
腹部臓器癌検査				
(7) 腹部CT	胆/肝/膵/腎/脾臓の疾患発見	16,500円	※予約	
(8) 肝臓癌腫瘍マーカー(AFP)	血液による肝癌発見の手助け	3,850円	当日	
(9) 膵臓癌腫瘍マーカー(CA-19-9・I757-1)	血液による膵癌発見の手助け	7,700円	当日	
大腸検査 (11) 条件：年齢~69歳までの方に限る。実施日…(火)(金)PM				
(10) 大腸癌腫瘍マーカー(CEA)	血液による大腸癌発見の手助け	3,850円	当日	
(11) 大腸内視鏡検査(同日不可)	内視鏡による大腸疾患の発見	44,000円	※予約	
前立腺癌検査 *男性のみ				
(12) 前立腺癌腫瘍マーカー(PSA)	血液による前立腺癌発見の手助け	3,850円	当日	
子宮がん検診・卵巣癌検査 ★(13)子宮がん36~74歳の偶数年齢(年度末年齢)の方は一部補助金あり				
(13) 婦人科細胞診(含む内診)	子宮頸癌検査	4,400円	※予約	
(14) 卵巣癌腫瘍マーカー(CA125,CEA)	血液による卵巣癌発見の手助け	7,700円	当日	
乳がん検診 ★(15)マンモ40~74歳の偶数年齢(年度末年齢)の方は一部補助金あり				
(15) マンモグラフィー	乳房疾患の検査	6,600円	※予約	
(16) 乳腺エコー	乳房疾患の検査(超音波検査)	4,400円	※予約	
骨粗鬆症検査 ★ご予約制です。お手数をお掛け致しますが必ずご連絡くださいませ。				
(17) 骨塩量測定(部位腰椎)	骨の老化度検査	4,950円	※予約	
頸動脈検査				
(18) 頸動脈超音波検査	動脈硬化の程度を判定する検査	8,800円	※予約	
胃部検査				
(19) ABC 検診(胃がんリスクの危険度判定検査) ★本紙裏面をよくお読みください。	ピロリ菌の抗体量とペプシノゲン検査を組み合わせる胃がんリスクの危険度を分類する検査 【注意】胃がんを見つける検査ではありません。	6,600円	※予約	
(20) ヘリコバクターピロリ菌(血液中の抗体の量で調べるピロリ菌抗体測定検査) ★除菌治療後の方は受けられません。	胃部疾患の原因となるピロリ菌の感染を調べます。但し、抗体が(-)でも抗体濃度によっては別法での再検査が必要となります	3,300円	※予約	
人間ドック ★(22)付加対象者は年度末年齢が40・45・50・55・60・65・70歳の方です(別紙対比表参照)				
(21) 人間ドック(一般健診対象)	一般健診にドック項目追加	28,217円	※予約	
(22) 人間ドック(付加健診対象)	付加健診にドック項目追加	21,303円	※予約	
ご受診日	年 月 日	ご氏名	殿	

【オプション検査の結果について】

結果説明はありませんので文書でのご報告となります。予めご了承下さい。

『(19) ABC検診 (胃がんリスク検診)』とは？

「胃の粘膜に生息するピロリ菌の感染の有無」と「胃粘膜の萎縮度（ペプシノゲン判定）」を血液検査で調べ、将来胃がんになりやすい状態であるかをグループ（A群、B群、C群、D群）分けし、胃がんのリスク（危険度）を判定する検査です。胃がんそのものを見つける検査ではありません。判定されたリスクに応じて、胃がんなどの予防・早期発見・早期治療に役立てていくものです。

なお、下記に該当される方はこの検診を受けることができませんのでご注意ください。

【ABC検診が受けられない方（判定不能）】

1. 過去にピロリ菌の検査を受け、除菌治療を受けた方、受けている方
2. 明らかな上部消化器症状があり胃や十二指腸の疾患が強く疑われる方
3. 食道・胃・十二指腸に関する疾患で、経過観察中・治療中の方
4. 胃切除後の方
5. 胃がんの手術を受けた方
6. 胃酸の分泌を抑える薬（プロトンポンプ阻害薬）を服用中、または2ヶ月以内に服用された方（※薬名：オメプラール・タケプロン・パリエット・ネキシウムなど）
7. 腎不全または腎機能障害のある方（目安：血清クレアチニン値が3mg/dl以上）

以上の方は、検査をしても正確な判定ができないため対象外となります。胃部検査については、医師のもとでの定期的な検査をお勧め致します。

重要!!

ABC検診はあくまでも胃がんリスクを層別化する検査です。胃がんの有無を見る胃がん検診ではありません。特に進行がんや未分化型（増殖が速く悪性度が高い）腺がんは判定にかかりません。

結果がA群（低リスク）であっても100%胃がんにならないという事ではありませんので、リスクに応じた画像診断を定期的に受けるようにしましょう。

医療法人埼玉成恵会病院

【脳検査オプションメニュー（3）（4）について】

『（3）の脳梗塞リスク評価』について

① 脳梗塞リスクとは？

自覚症状のない、小さな脳梗塞をかくれ脳梗塞（無症候性脳梗塞）と言います。無症候性脳梗塞の方は脳卒中・認知症になりやすいと言われています。

② 脳梗塞リスク評価の特徴

脳梗塞リスク評価は、血液分析によってかくれ脳梗塞の可能性を探ることができます。画像診断の前に手軽に受けたいと思っている方に向けております。

③ お申込みされた方は別途「問診票」を記入して頂きます。

後からお申込みをされた方へはご来院時に「問診票」を記入して頂きます。
予約時にお申込みをされた方へはご案内書類に「問診票」を同封致します。

検査結果は人間ドック・健診報告書の用紙とは別紙でのご報告となります。
ご報告までに2～3週間程度かかりますのでご承知おきください。

『（4）の認知症リスク検査（MCI）』について

① 検査年齢について

40歳以上の方にお勧めしています。39歳以下の方は参考値となります。ご承知おき下さい。

② 注意事項

既に認知症と診断されている方は検査対象外となります。

急性炎症・肝硬変・先天的脂質異常症の方、自己免疫性疾患をお持ちの方は判定結果に影響する可能性があります。

検査結果は人間ドック・健診報告書の用紙とは別紙でのご報告となります。
ご報告までに3～4週間程度かかりますのでご承知おきください。

オプション・メニューのご案内 兼 申込書

2021 年度より下記検査がオプションに追加されました

『アミノインデックス がんリスク スクリーニング (AICS) 検査』

① AICSとは？

「アミノインデックス がんスクリーニング (AICS)」とは血液中のアミノ酸濃度を測定し、「健康な人」と「がんである人」のアミノ酸のバランスの違いを統計的に解析することで、現在がんであるリスク (可能性) を評価する検査です。

② AICSの特長は？

一度の採血で複数 (男性5種、女性6種) のがんを同時に検査できます。
採血による検査で人間ドックや健康診断で同時に受診できます。

【男性 AICS5種】胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん

【女性 AICS6種】胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮・卵巣がん*

*子宮・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。いずれかのがんであるリスクについて評価する事ができますが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません。

それぞれのがんである確率を 0.0~10.0 の数値 (AICS値) でご報告いたします。
数値が高ければ高いほど、がんである確率が高くなります。確率が低い方から、「ランクA」「ランクB」「ランクC」の3段階で示されます。

◆AICSは、現在がんである可能性を評価する検査です。生涯に渡ってのリスクを予測するものではありません。なお、がんの有無を直接調べる検査ではありませんので、検査結果区分が「ランクA」でも、がんではないとは言いきれません。また、「ランクB」や「ランクC」でも、必ずしも、がんである訳ではありません。

「完全予約制」となりますので、受診日1週間前までにお電話にてお申込み下さい。

お申込みの前にこちらの用紙の裏面をよくお読み下さい。

検査内容	料金 (税込)	チェック
アミノインデックス がんリスク スクリーニング (AICS)	60,500円	
ご受診日 年 月 日 ご氏名		殿

次頁へつづく

※お申込みされる前に次頁もよくお読み下さい

■検査の対象年齢

対象のがんの種類	対象年齢
胃がん・肺がん・大腸がん・膵臓がん・乳がん	25歳～90歳
前立腺がん	40歳～90歳
子宮がん・卵巣がん	20歳～80歳

■下記に該当する方はA I C S値に影響がありますので検査は受けられません。

・妊娠されている方	・先天性代謝異常の方
・授乳中の方	・透析患者の方
・がん患者（治療中含む）の方	

■A I C Sの結果に影響を与える可能性がある病気

※検査の対象外ではありませんが、下記の病気にかかっている方は、A I C S値に影響を与える可能性があります。

A I C Sを受診することにより、がんを発見できる機会となると同時に、下記の病気による影響で、がんでは無いのにA I C S値が高くなりうることをご理解いただいた上でご受診ください。

現在までに各種A I C Sの結果に影響を与える可能性がある病気	
A I C S（肺）	慢性閉塞性肺疾患・間質性肺炎・非結核性抗酸菌症 肺結核・肺気腫・無気肺
A I C S（前立腺）	前立腺肥大・糖尿病
A I C S（子宮・卵巣）	子宮筋腫・子宮内膜症・良性卵巣腫瘍
複数のA I C S	脳梗塞

■A I C S受診前の注意点

血液中のアミノ酸バランスに影響を与える可能性がありますので、受診前に下記の注意事項をお守りください。

- ① 検査前8時間以内に、水以外（食事、サプリメント等）は摂らないでください。
- ② 検査前日の夕食も肉、魚などの高タンパク質の食事は摂りすぎないようにしてください。
- ③ できるだけ検査当日の朝の運動はお控えください。
- ④ 薬剤のA I C S値への影響に関しては分かっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医にご相談ください。

報告書は人間ドック・健診報告書とは別紙でのご報告となります。ご報告までに

2～3週間程度かかります。ご承知おきください。